

事業実績書

団体名	鑄銭司自治会 (鑄銭司まちづくり協議会)
-----	-------------------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

山口方式鑄銭司自治会の夢姿創造と共有化を図り、よりよい地域づくりを進めます。

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	多くの地域住民のニーズに則した事業の見直しと地域づくり計画の構築		
	事業名	地域連携・交流事業	決算額	569,514円
②	視点	犯罪のない安心安全な地域づくり		
	事業名	防犯対策推進事業	決算額	656,210円
③	視点	貴重な地域資源の再確認と顕彰		
	事業名	地域資源PR事業	決算額	729,633円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①ワークショップ2回、住民アンケートの実施、分科会11回、計画策定会議16回開催。多くの住民の参加による地域づくり計画が完成しました。平成27年度から計画の実現に向けて努力してまいります。	◎
②昨年に引き続き重点事業として、LED防犯灯の設置を推進してきました。今年度は新たに12灯のLED防犯灯を新設しました。また防犯抑止看板をデザイン化し、4か所設置しました。今後も危険個所について調査し、防犯対策を進めてまいります。	○
③鑄銭司小学校の児童がデザインした大村神社から墓所までの史跡案内看板を設置しました。子どもらしい発想で特色のある看板に仕上がりました。郷土愛を育むことができるよう、今後も若い世代がPR活動に関われる仕組み作りを推進していきます。	○

◎(大変よくできた) ○(概ねできた) △(課題が残った) ×(全く出来なかった)

4 総括

地域づくり計画の策定により、例年に比べ会議数が多くなり、普段会議に参加されない方に対して地域づくり活動を知っていただく良い機会となりました。第1次地域づくり計画の反省点を見直し、‘キャッチフレーズ’となった「みんなで作ろう明るい鑄銭司」を目標に、協力し合い、助け合う地域づくりを進めていきます。

5 事業内容

(1)協議会運営

事業費	3,189,761円
事務局の運営体制	(事務員等の雇用人数)事務局長:1名(5月12日退任) 事務員3名 (運営費の主な内容)事務局人件費、事務費 (成果・評価)事務局長が5月に退任し、以降不在であったことから事務の簡素化を図り、事務局職員3人で運営していきました。 (今後に向けて)来年度より事務局長就任が決定し、組織の充実は図れたことにより、効率の良い事務局運営実施していきます。

(2) 地域振興

事業名	地域情報発信事業
事業費	231,420円
事業概要	(実施内容) 広報誌発行・携帯ホームページ (実施時期) 通年 (参加人数) 900世帯×11回 (成果) 自治会通信(回覧)10回発行・自治会報1回発行・ホームページの随時更新 (評価) 今年度より、地区民の要望により自治会広報誌(自治会通信)を全戸配布することとなりました。広報誌の内容も「鑄銭司たからばこ」を開設し、史跡や歴史人物を地区民に周知していきます。ホームページへのアクセス数は減少しています。 (今後に向けて) 第2次地域づくり計画において、広報誌およびホームページの見直しを検討することとしております。

事業名	地域連携・交流事業
事業費	569,514円
事業概要	(実施内容) ①目標具現化検討会 ②ふるさとまつり開催支援・地域づくり功労者表彰 (実施時期) ①通年 ②平成26年11月 (参加人数) ①1,396人 ②1,500人 (表彰者5人) (成果) ①ワークショップ2回、住民アンケート、分科会11回、計画策定会議16回実施し、「第2次鑄銭司地域づくり計画」が完成しました。 ②鑄銭司地域最大のイベントである、ふるさとまつりの開催を支援しました。また、地域づくりに貢献された5名の方を表彰しました。 (評価) ①多くの住民の意見を反映した地域づくり計画が完成しました。 ②自治会関係の4つの事業を実施し、まつりの活性化を図りました。また、功労者の方を広く紹介することが出来ました。 (今後に向けて) ①地域づくり計画が実現できるように、取り組みを進めていきます。 ②一人でも多く表彰できるように、情報収集に努めます。

(3) 地域福祉

事業名	教育・福祉関係事業
事業費	174,716円
事業概要	(実施内容) ①手話教室開催 ②子育て関連教育施設支援事業 (実施時期) ①平成26年7月 ②平成26年7月・11月 (参加人数) ①70人 ②90人 (成果) ①8回開催。 ②地域に伝わる昔話の紙芝居を小学生が作成。子育ての集い講演会開催支援 (評価) ①山口南総合支援学校(旧ろう学校)の生徒とのコミュニケーションの実現に向けて簡単な挨拶ができるようになりました。 ②ふるさとまつりにおいて、小学生による紙芝居を披露しました。また、子育て団体連絡協議会と連携して「子育ては楽しい事業」と題した講演会の開催を支援しました。 (今後に向けて) ①福祉施設を多く在する特徴を生かし、交流と地域貢献を図っていきます。 ②子ども及び子育て世代の活動を支援していきます。

事業名	健康づくり対策事業
事業費	227,709円
事業概要	<p>(実施内容)①活動量計に着目した健康づくり ②ウォーキングマップ再版 (実施時期)①平成26年7月～平成27年2月 ②平成27年3月 (参加人数)①210人 ②－ (成果)①山口市健康増進課主催で計8回開催されました。活動量計の活用により参加者の健康増進が図られた。 ②「すぜんじ史跡ウォーキングマップ」の地図のおよび説明文の修正も行き、再版しました。 (今後に向けて)①来年度は鑄銭司自治会主催で健康づくりに関する活動を実施します。 ②史跡めぐりのウォーキングイベントについて検討していきます。</p>

(4)安心・安全

事業名	防犯対策推進事業
事業費	656,210円
事業概要	<p>(実施内容)①LED防犯灯増設 ②防犯抑止看板設置 (実施時期)①通年 ②平成26年12月 (成果)①新設11灯 ②4か所設置 (評価)①昨年に引き続き、通学路を中心にLED防犯灯を新設しました。 ②看板に郷土出身の大村益次郎をデザインし、抑止力を強化しました。 (今後に向けて)引き続き、防犯灯及び防犯抑止看板を設置し、地域をあげて防犯意識が向上するよう努めていきます。</p>

事業名	交通安全推進事業
事業費	16,000円
事業概要	<p>(実施内容)山口南警察署、山口農業高等学校と連携をして、長沢ガーデン駐車場において交通安全マスコットを配布。地域内の運送会社6社にも配付しました。 (実施時期)平成26年9月 (参加人数)440人 (成果)個人、地域のサークル、山口農業高校の協力により約400個のマスコットを配布し、交通事故防止の啓発に図りました。 (評価)地域内の運送会社にも配付し、交通安全だけでなく、地域活動を啓発することができた。 (今後に向けて)マスコットづくりを公募するなど、活動に対して周知を図り、地域全体で交通安全を推進してきます。</p>

(5)環境づくり

事業名	土木工事(法定外公共物)
事業費	2,083,000円
事業概要	<p>(実施内容)法定外公共物の整備 (実施時期)通年 (成果)法定外公共物の整備を4箇所行ないました。 (評価)生活道路が整備されました。 (今後に向けて)地域内の要望を把握し、随時対応していきます。</p>

事業名	土木工事(単市土地改良)
事業費	1,861,000円
事業概要	(実施内容)単市土地改良の整備 (実施時期)通年 (成果)単市土地改良の整備を5箇所行ないました。 (評価)老朽水路が改修されました。 (今後に向けて)地域内の要望を把握し、随時対応していきます。

(6)地域個性創出

事業名	環境整備事業
事業費	969,525円
事業概要	(実施内容)①一戸一鉢運動 ②一斉清掃 ③長沢パーク構想 (実施時期)①平成26年7月 ②平成26年11月 ③平成27年2月 (参加人数)①880人 ②300人 ③120人 (成果)①2000株の苗とプランター900個と土900袋を全戸、企業、施設に配布しました。 ②企業9社合同一斉清掃を行いました。 ③長沢池弁天社の整備、芝桜の施肥を三世代で行いました。 (評価)①地域全体で「向う三軒両隣」のコミュニケーションが図れました。 ②企業の参加協力により地域の一体感が生まれました。 ③環境美化活動を通して三世代の交流が図られました。 (今後に向けて)長沢池周辺の整備を計画的に進め、コミュニケーションを図りながら、地域全体の環境づくりに取り組んでいきます。

(6)地域個性創出

事業名	地域資源PR事業
事業費	729,633円
事業概要	(実施内容)①地域カレンダー全戸配布 ②大村益次郎PR看板 ③陸橋横断幕架け看板 (実施時期)①平成27年3月 ②平成26年11月 ③平成27年3月 (参加人数)①950人 ②40人 ③12人 (成果)①地域行事の写真を公募し、新年度の行事予定を記載したカレンダーを全戸に配付し、地域行事や活動を周知しました。 ②小学校の児童がデザインした大村神社から墓所までの史跡案内看板を設置しました。 ③大村益次郎と銭の生まれた町をPRする陸橋横断幕が老朽化したため、一部大村益次郎没後150年までカウントダウンできるデザインに変更し、架け替えました。 (評価)①一年間の地域の主な行事が確認できるカレンダーとなり、行事や地域活動に参加する人の拡大に期待できます。 ②小学生がデザインした温かみのある案内板を来訪者にアピールすることができました。 ③道路や山陽本線から横断幕が見ることができ、地域内外に鑄銭司を発信することができました。 (今後に向けて)①写真のテーマを毎年変えて公募し、多くの住民が参画する地域カレンダーを制作していきます。 ②③鑄銭司の貴重な地域資源を地域内外に発信できるよう、PR事業に取り組んでいきます。

事業名	伝統文化の継承
事業費	237,104円
事業概要	<p>(実施内容)①風鎮祭「盆踊りの夕べ」 ②笠踊り保存会支援 (実施時期)①平成26年8月 ②平成26年8月～9月 (参加人数)①350人 ②300人 (成果)①地域団体の協力により多くの参加者がありました。 ②鑄銭司のみに伝わる「笠踊り」を単位自治会のお祭りや小学校運動会において披露し、伝承活動に取り組んだ。</p> <p>(評価)①盆踊りを通じて世代間の交流が生まれ、若年層に対しては自治会活動を理解してもらったきっかけとなりました。 ②練習会を開催してみたが参加者が少なく、踊り手を継承していくことの難しさを実感しました。</p> <p>(今後に向けて)笠踊りに接する機会を増やし、盆踊りというコミュニケーションの場を通じて、地域の貴重な盆踊りの伝承を図ります。</p>